

第7回日本 Men's Health 医学会 開催報告 The Second Japan-ASEAN Men's Health & Aging Conference

第7回日本 Men's Health 医学会はご好評のもと終了いたしました。
多数のご参加・ご支援ありがとうございました。



第7回日本 Men's Health 医学会を2007年11月17日、The Second Japan-ASEAN Men's Health & Aging Conference を11月16日、18日の合わせて3日間、石川県加賀市山中温泉山中座および河鹿荘ローヤルホテルにおいて開催いたしました。会員の皆様の献身的なご協力によって、成功裡に学会を終えることができ感謝申し上げます。



学会は紅葉鮮やかな山中温泉で行われました。当地は古くからの温泉地であり、芭蕉の奥の細道の逗留地でもあります。11月の紅葉の時期に開催でき、景色もおおいに堪能できたと考えております。

学会1日目は山中温泉の中心にある山中座でおこなわれました。会場は大きくはありませんが、温泉情緒にあふれる、趣のある会場で好評を得ました。

昨年6月に日本と東南アジア諸国との共催の形で、The First Japan-ASEAN Men's Health & Aging Conference がクアラルンプールで開催されました。本年は我が国が持ち回りの番で、日本で初めての開催となります。そこで、日本 Men's Health 医学会の開催時期に合わせて、The

Second Japan-ASEAN Men's Health & Aging Conference を開催しました。



学会のテーマは“地球規模で考えよう Men’s Health 対策” (Let’s think about Men’s Health globally) であり、中高年男性をとりまく、いわゆる Men’s Health の問題を諸外国と協調して、討論する場とすることを目標に掲げました。

The Second Japan-ASEAN Men's Health & Aging Conference

現在、東南アジアを中心とした諸国での aging male に対する関心はきわめて高いと言えます。マレーシアでは 2001 年に国際 aging male 学会に呼応する形で、第 1 回アジア地区学会が組織開催され、きわめて早い取り組みが行われています。それは、現在ピラミッド型の人口分布を示すアジア諸国が将来の少子高齢化社会に突入に、経済的、社会的に大きな不安に直面する可能性を予想できるからのようです。



学会は、オーストリアのウィーン大学の国際 Men's Health と性 (ISMH) 学会会長の Meryn 教授、マレー大学の Tan 教授 (マレーシア)、帝京大学の堀江教授 (日本) から、それぞれヨーロッパ、ASEAN および日本の現状に対する基調講演によって各地区の問題点を浮き彫りにしました。さらに、各国演者によって、各国の保険、社会保証制度や教育の講演が続いた。シンポジウムのテーマは各国の LOH 症候群の定義や現状であり、さらにその治療と ED について討論された。さらに加齢男性に関与する排尿や前立腺疾患とエストロゲン、泌尿器科領域のテストステロン補助療法の講演があった。最終のシンポジウムでは、各国の性医学の現状についての熱い

討論があり、特別講演として前立腺癌と bisphosphonate および前立腺癌と Brachy 療法の講演があった。

日本 Men's Health 医学会



熊本悦明日本 Men's Health 医学会理事長の現在の本邦における aging male の現状についての基調報告から開始しました。昨年、日本泌尿器科学会および日本 Men's Health 医学会が主導して作成した「加齢男性性腺機能低下症候群（LOH 症候群）診療の手引き」を基に、その LOH 症候群の罹患頻度、治療法および課題について発表があり、さらに LOH 症候群の徴候、症状としてのボーンヘルスについてのワークショップで討論されました。とくに、日本—ASEAN 諸国の様々な問題点について、合同のシンポジウムを組み、活発な意見交換がありました。教育講演では、Androgenetic Alopecia に対するフィナステリドについての講演と、男性 LUTS についての興味深い講演がありました。

ポスターセッション

外国からの演題を中心に 27 題あり、臨床から基礎に至るさまざまな話題があり、好評でした。



本学会の参加国はオーストリア、ポーランド、ベルギー、USA、シンガポール、インドネシア、フィリピン、タイ、韓国、中国、台湾など 11 カ国に及びました。また、本学会会員からも、積極的な参加を頂き感謝申し上げます。

本学会を遂行するにあたり、多くの先生方から、温かい支援を賜りました。この場を借りて御礼を申し上げます。ご協賛いただきました企業みなさんに感謝申し上げます。